

(資料)第3期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略 パブリックコメントの実施結果【詳細一覧】

番号	意見	関連箇所	回答
1	<p>・春日市の中学校に、完全給食を求めます。</p> <p>現在、自己管理能力の向上を図るために選択制をとっているとなっておりますが、そもそも完全給食がベースにあってこそ、選択制とすることが必要ではないでしょうか？</p> <p>どんな家庭でも昼食の一食をどの子にも保障させるのが最優先と考えます。義務教育期間は自己管理云々ではなく、食の保証が何よりも大切だと思います。給食は食育の一環だと考えます。両親共働き世帯、核家族が大半を占める中で、毎日の弁当持参はとても負担になる。では弁当給食にすればいいのでは？弁当給食はアレルギー対策されていません。アレルギーがある子の家庭は家庭から弁当持参の選択肢しかありません。</p> <p>大野城市が弁当持参やパン購入の生徒の家庭にはその分の現金支給をするとなりましたが、これでは集計する学校や親への負担も増えると考えます。</p> <p>学校給食は子どもへの貧困に対して食事という現物支給の制度としてとても有効で大切ですが、キャッシュバックではなく「完全給食」の現物支給を求めます!!</p>	<p>基本目標1 若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり</p> <p>指針1 妊娠・出産・子育て支援の充実</p>	<p>本市教育委員会の学校給食の基本的な考え方は、児童生徒の発達段階を踏まえて、自己選択、自己決定する機会を設けることによって、生きる力としての自立心の育成、それと食に対する自己管理能力の育成を目指すものです。つまり、栄養のバランスのよいものや、自分の健康状態に合わせた量などを選択する能力の育成です。このことから、小学校では一律に全員給食、中学校では選択制、高等学校以降は完全自主選択制といった段階を踏まえて、給食の方式を採用しております。</p> <p>なお、中学校給食では、除去食および食物アレルギーの個別対応は実施していませんが、「そば・落花生・いくら・キウイフルーツ・くるみ・バナナ・まつたけ・あわび」は、給食の食品として使用しておらず、また、特定原材料表示義務7品目(乳・卵・小麦・そば・落花生・えび・かに)と表示を奨励(任意表示)されている21品目(いくら・キウイフルーツ・くるみ・大豆・バナナ・やまいも・カシューナッツ・もも・ごま・さば・さけ・いか・鶏肉・りんご・まつたけ・あわび・オレンジ・牛肉・ゼラチン・豚肉・アーモンド)を加えた合計28品目を月ごとの詳細献立表に表示しているところです。</p>
2	<p>(1)中学校の選択制給食について</p> <p>福岡市は給食費無償化を決定されました。先週、大野城市は選択制給食のまま無償化をしようとしていましたが、ネットのコメント欄などのSNS上ですごい賛否両論が巻き起こっています。中学生の栄養の事を考えるならまず全員食べられる給食にしないとイケないと思います。</p> <p>小学校の給食は春日市は素晴らしいと思うんです。地産地消の取り組みや世界の料理など、子どもが帰って「今日こんな野菜が出て、食べられた!」「や「こんな風にしてくれたら食べられる」など、自分ではあまり買わない食材にトライする良いきっかけにもなりました。なのに中学校は選択制、しかも量が選べない。食べきれないなら残せなんて、小学校の食育の取り組みが無駄に思いました。</p> <p>しかも、お弁当を持たせるにしても重い荷物にさらに弁当まで。かわいそうすぎます。</p> <p>パンだけなんてありえないですよ。小学校のパンの日はたまにだから嬉しいんですよ。パンだけなんて回数食べても栄養の事なんて考えられてない。選択制給食を続けたいがための苦肉の策としか思えません。家庭の方も、共働きのご家庭が増えていて、働くお母さん達の労働時間を増やすのも許せません。</p>	<p>基本目標1 若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり</p> <p>指針1 妊娠・出産・子育て支援の充実</p>	<p>上記に同じ</p>
3	<p>(2)スポーツ少年団について</p> <p>スポーツ少年団は週6時間しか活動してはイケないとしています。正直6時間なんて別に強くなる必要ないと言われているようなものだと思います。</p> <p>そんな決め事なくても、チームは子ども達のことをちゃんと考えて練習時間は決めると思います。</p> <p>そして県大会も学校があればその子は出場禁止。</p> <p>平日ちゃんと学校行って、休みの日にお友達とは遊んでるのにその子は暑い日も寒い日も練習をしていて、県大会やその先を目指して頑張っているのに。</p> <p>せめて本人に選ぶ権利を与えて欲しいと思います。</p> <p>最後に、制約をたくさんつけて変更をほぼ認めないスポーツ少年団はイベントが多々あり、それに関しては団に所属する親子を平気で招集します。やりたくないのではなく、自分たちの都合の良いことには駆り出して、こちらの要望は突っぱねるその姿勢が良くないと思います。</p> <p>それを知っている親御さんは大野城など春日市外のチームに入っている話をよく聞きます。</p>	<p>基本目標2 九州で最も住みやすい魅力あるまちづくり</p> <p>指針2 学校教育の充実・共育(共に育てる)の推進</p>	<p>各団体の活動方針に対し、行政が意見を言う立場にございません。</p> <p>なお、活動時間については、身体的、精神的に無理がなく、意欲をもって参加できる活動とするために設定され、また、大会への参加については、学業優先で対応されているものと思います。</p>
4	<p>(3)西野球場について</p> <p>これは野球に特化した話なのですが、西野球場が改修工事で2年使えないなら、代わりのグラウンドをちゃんと確保して、今までと同じように子ども達が練習できる環境を準備して欲しいです。</p> <p>軟式野球でも、硬式野球でも、すでに練習する場所が限られているのに、さらに使えない場所が増えて、代わりのグラウンドの話してもあまり反応がないと聞きました。</p> <p>代わりのグラウンドが無いのであれば、そもそもこの改修工事は必要なのでしょうか。この問題で今年進学する優秀な選手達が春日市外のチームに入団していきました。春日市は子供達のスポーツを強くする気がないと思います。責任を担いたくないだけの組織としか見えません。</p>	<p>基本目標2 九州で最も住みやすい魅力あるまちづくり</p> <p>指針1 協働のまちづくりの推進</p>	<p>西野球場を含む春日西多目的広場公園整備事業は、西野球場の保全と、スポーツ環境等の充実を図るため、西野球場と北側に隣接する多目的広場を一体的に整備するものです。工事期間中の代替グラウンドの確保については、既存施設をご利用いただくほかございません。</p> <p>大変御迷惑をお掛けしますが、御理解いただけますと幸いです。</p>
5	<p>(4)子どもの検診やファミリーサポートについて</p> <p>なぜ公共の交通機関1本で行けない場所で検診やファミリーサポートの登録等があるのでしょうか。</p> <p>小さな子どもがいての移動の大変さを知らない人たちが決めているとしか思えません。</p> <p>便利な場所に春日市役所、バスセンターがある場所にふれあい文化センターがあるのに残念だと感じています。</p>	<p>基本目標1 若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり</p> <p>指針1 妊娠・出産・子育て支援の充実</p>	<p>お住まいの地区によっては、いきいきプラザが公共交通機関1本でいくことはできませんが、春日市のコミュニティバスは、市内全域を運行しており、大谷のバスセンターで乗り継ぎ(無料)いきいきプラザ前に降車することが可能です。また、近隣の福祉ばれっと館前であれば、上白水、須玖、桜ヶ丘線の3路線からアクセスできます。</p>